



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月8日

上場会社名 株式会社 ユニバンス  
 コード番号 7254 URL <https://www.uvc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 鈴木 一和雄  
 (氏名) 曾布川 守男  
 TEL 053-576-1311

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	36,975	—	2,342	—	2,372	—	1,913	—
2021年3月期第3四半期	30,908	△29.1	△1,469	—	△1,252	—	△2,073	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,511百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △1,224百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	91.88	—
2021年3月期第3四半期	△99.56	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	43,371	17,438	40.2
2021年3月期	44,345	16,019	36.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 17,438百万円 2021年3月期 16,019百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2022年3月期	—	3.00	—		
2022年3月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	—	2,200	—	2,200	—	1,800	—	86.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	23,396,787 株	2021年3月期	23,396,787 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期3Q	2,566,262 株	2021年3月期	2,566,182 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	20,830,549 株	2021年3月期3Q	20,830,605 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(関連情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、一部の売上について加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

そのため、当第3四半期連結累計期間における経営成績に関する説明は、売上高については前第3四半期連結累計期間と比較しての増減額及び前年同期比(%)を記載せずに説明しております。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が一旦落ち着きを見せ、北米市場の回復により四輪駆動装置及び農機ユニットの販売が引き続き堅調に推移したため、前年同期に比べ大幅に回復し369億75百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の回復影響に加え、過年度より取り組んでいる事業構造の改善の効果もあり、営業利益は23億42百万円(前年同期は14億69百万円の損失)、経常利益は23億72百万円(前年同期は12億52百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億13百万円(前年同期は20億73百万円の損失)となりました。

なお足元では、同ウイルス変異株の感染拡大や半導体供給不足による販売への影響、並びに原材料価格上昇や海外向け輸送の遅延に伴う臨時費用の発生などコストへの影響が顕在化してきております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <ユニット事業>

売上高は、新型コロナウイルス感染症による顧客カーメーカーの操業低下の影響を受けた前年同期に比べ北米市場を中心に大幅に回復し、241億85百万円となりました。セグメント利益につきましては、売上増加影響等により15億71百万円(前年同期は13億12百万円の損失)となりました。

#### <部品事業>

売上高は、ユニット事業と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同期に比べ大幅に回復し、127億55百万円となりました。セグメント利益につきましては、売上増加影響に加え商品収益力の向上等により7億23百万円(前年同期は1億45百万円の損失)となりました。

#### <その他>

セグメント利益につきましては、46百万円(前年同期は0百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、棚卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金と有形固定資産の減少により、前期末に比べ9億74百万円減少し、433億71百万円となりました。

負債につきましては、収益認識に関する会計基準の適用に伴う有償支給に係る負債の計上により流動負債のその他が増加しましたが、借入金と支払手形及び買掛金の減少により、前期末に比べ23億93百万円減少し、259億32百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が減少しましたが、利益剰余金の増加により、前期末に比べ14億19百万円増加し、174億38百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年8月5日に公表しました2022年3月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2022年2月8日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,827,415	3,015,082
受取手形及び売掛金	10,202,979	8,905,338
製品	1,311,689	1,314,975
仕掛品	1,508,491	1,619,779
原材料及び貯蔵品	2,904,305	4,027,397
その他	1,948,706	2,512,952
貸倒引当金	△6,637	△53,035
流動資産合計	20,696,950	21,342,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,687,142	15,984,194
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,592,145	△10,915,829
建物及び構築物(純額)	5,094,997	5,068,365
機械装置及び運搬具	72,507,296	72,855,399
減価償却累計額及び減損損失累計額	△62,161,057	△63,771,301
機械装置及び運搬具(純額)	10,346,238	9,084,098
工具、器具及び備品	5,823,647	5,771,727
減価償却累計額	△5,173,444	△5,357,987
工具、器具及び備品(純額)	650,203	413,739
土地	2,372,075	2,365,327
リース資産	72,337	83,879
減価償却累計額	△45,309	△42,670
リース資産(純額)	27,028	41,209
建設仮勘定	373,047	833,675
有形固定資産合計	18,863,590	17,806,415
無形固定資産	837,816	829,332
投資その他の資産		
投資有価証券	3,598,936	3,050,355
繰延税金資産	191,230	204,238
その他	157,015	138,637
投資その他の資産合計	3,947,182	3,393,230
固定資産合計	23,648,589	22,028,978
資産合計	44,345,540	43,371,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,246,444	6,122,111
短期借入金	4,860,966	4,578,795
未払金	1,754,082	1,692,241
未払費用	927,522	929,697
リース債務	15,511	18,184
未払法人税等	243,930	368,820
賞与引当金	579,053	466,228
役員賞与引当金	—	16,346
製品保証引当金	1,888,459	2,129,047
その他	248,159	786,292
流動負債合計	17,764,130	17,107,766
固定負債		
長期借入金	5,731,910	4,160,056
リース債務	10,684	24,862
繰延税金負債	1,194,071	959,021
役員退職慰労引当金	96,105	96,105
資産除去債務	180,470	180,713
退職給付に係る負債	3,347,503	3,402,948
その他	1,425	1,154
固定負債合計	10,562,171	8,824,861
負債合計	28,326,301	25,932,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	2,172,602	2,172,602
利益剰余金	9,003,961	10,852,053
自己株式	△692,385	△692,410
株主資本合計	13,984,178	15,832,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,574,937	1,164,069
為替換算調整勘定	365,349	351,532
退職給付に係る調整累計額	94,773	90,993
その他の包括利益累計額合計	2,035,060	1,606,595
純資産合計	16,019,238	17,438,840
負債純資産合計	44,345,540	43,371,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	30,908,675	36,975,401
売上原価	28,350,671	30,156,950
売上総利益	2,558,004	6,818,450
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	397,056	701,244
人件費	1,830,168	1,862,133
減価償却費	205,697	183,700
賞与引当金繰入額	166,907	288,953
退職給付費用	57,475	48,386
その他	1,370,016	1,391,117
販売費及び一般管理費合計	4,027,321	4,475,535
営業利益又は営業損失(△)	△1,469,317	2,342,915
営業外収益		
受取利息	2,721	1,167
受取配当金	42,151	71,293
受取賃貸料	10,651	7,493
為替差益	54,717	—
受取補償金	34,447	130,465
雇用調整助成金	224,464	1,158
その他	54,941	72,579
営業外収益合計	424,094	284,157
営業外費用		
支払利息	121,770	80,209
為替差損	—	73,293
外国源泉税	70,347	88,871
その他	14,862	12,318
営業外費用合計	206,980	254,692
経常利益又は経常損失(△)	△1,252,202	2,372,380
特別利益		
固定資産売却益	35,677	21,583
投資有価証券売却益	0	98
特別利益合計	35,677	21,682
特別損失		
固定資産売却損	—	701
固定資産除却損	10,656	19,393
減損損失	—	2,006
事業構造改善費用	80,716	—
特許実施許諾解決金	160,000	—
特別損失合計	251,373	22,101
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,467,898	2,371,961
法人税等	606,032	458,029
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,073,930	1,913,932
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,073,930	1,913,932

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,073,930	1,913,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	609,399	△410,868
為替換算調整勘定	221,527	12,644
退職給付に係る調整額	18,794	△3,780
その他の包括利益合計	849,720	△402,004
四半期包括利益	△1,224,209	1,511,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,224,209	1,511,927
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日であるユニバンスINC.については、連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行ってまいりましたが、より適切な経営情報の把握及び連結財務情報の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より、連結決算日において仮決算を行う方法に変更しております。

この変更により、ユニバンスINC.については、当第3四半期連結累計期間は、2021年4月1日から2021年12月31日までの9ヶ月間を連結しており、当該連結子会社の2021年1月1日から2021年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は船積基準により収益を認識しておりました輸出取引の一部について、着荷時もしくは検収時に収益を認識する方法に変更しております。また、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第94項に定める代替的な取り扱いを適用し、顧客が当該製品に対する支配を獲得した後に行う出荷及び配送活動については、製品を移転する約束を履行するための活動として処理し、履行義務として識別しておりません。なお、同適用指針第98項に定める代替的な取り扱いを適用し、国内販売において、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転されるまでの期間が通常の場合には、出荷時に収益を認識しております。

加えて、買戻し契約に該当する有償支給取引について、金融取引として有償支給先に残存する支給品について棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について「有償支給に係る負債」を認識し、流動負債「その他」に含めております。有償受給取引については、従来は有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上してまいりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,276,564千円減少し、売上原価は3,287,723千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11,158千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は12,826千円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ユニット 事業	部品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,318,517	13,557,040	30,875,557	33,117	30,908,675	—	30,908,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	279,647	279,647	△279,647	—
計	17,318,517	13,557,040	30,875,557	312,765	31,188,323	△279,647	30,908,675
セグメント損失(△)	△1,312,370	△145,844	△1,458,215	△172	△1,458,387	△10,930	△1,469,317

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業および工場附帯サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ユニット 事業	部品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,185,840	12,755,663	36,941,503	33,897	36,975,401	—	36,975,401
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	341,720	341,720	△341,720	—
計	24,185,840	12,755,663	36,941,503	375,617	37,317,121	△341,720	36,975,401
セグメント利益	1,571,129	723,359	2,294,488	46,202	2,340,691	2,224	2,342,915

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業および工場附帯サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「ユニット事業」の売上高は186,433千円減少、セグメント利益は11,158千円増加し、「部品事業」の売上高は3,090,131千円減少しております。

(関連情報)

所在地別情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	16,788,969	4,202,196	9,917,510	30,908,675	—	30,908,675
内部売上高	4,086,892	41,188	1,588,436	5,716,517	△5,716,517	—
計	20,875,862	4,243,384	11,505,946	36,625,193	△5,716,517	30,908,675
営業利益又は営業損失(△)	△1,439,877	△713,844	756,948	△1,396,772	△72,544	△1,469,317

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国々又は地域

(1)北米……アメリカ

(2)アジア……インドネシア、タイ

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	17,530,088	3,632,561	15,812,750	36,975,401	—	36,975,401
内部売上高	7,808,333	47,515	2,773,783	10,629,632	△10,629,632	—
計	25,338,422	3,680,077	18,586,533	47,605,033	△10,629,632	36,975,401
営業利益又は営業損失(△)	1,035,465	△139,726	1,479,056	2,374,796	△31,880	2,342,915

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国々又は地域

(1)北米……アメリカ

(2)アジア……インドネシア、タイ